



2022年12月15日

株式会社 阿波銀行

エスエヌアンドエスコミュニケーションズ合同会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、エスエヌアンドエスコミュニケーションズ合同会社（代表社員 薄田 克彦、本社：徳島県三好市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	エスエヌアンドエスコミュニケーションズ合同会社
所在地	徳島県三好市池田町イタノ 3307 番地 1
代表者	薄田 克彦
業種	ネイチャーツーリズム業
設立	2019年4月11日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年12月15日



エヌエヌアンドエスコミュニケーションズ合同会社

代表社員 薄田 克彦

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	働きがい	社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。	① 資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備		
			② 2023年度までに船舶免許、レスキュー等の資格の推奨制度を新設		
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	① 製品・サービスの環境に配慮した企画開発・設計基準の設定		
			② 2024年度までにジオラフトツアー（ラフティングを活用したジオツアー）およびラフトレ（ラフティングを活用した企業研修・チームビルディング）の商品開発		
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取り組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	① 地球の成立ち、自然の大切さ等を知り環境問題への従業員の意識・理解向上		
			② 2023年度までに企画開発を通じて、自然・仕事の楽しさを知り、環境・自然をモチーフにしたサービスを企画立案		
社会	環境問題への取組みの公表	情報開示を進め、自社の環境影響に関する透明性を高めます。	① 省資源や廃棄物削減等に関する取組み内容と取組実績の情報開示		
			② 2023年度までに持続可能な社会の実現に向けた取組をwebサイト等で公表		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。